

「臨床美術を愉しもう会」は、 内なる力を引き出す『まほろば』 ～感情と感覚のあふれる時間を共有～

■ 株式会社 両備ヘルシーケア [岡山県・香川県]



温暖で雨量が少ない吉備の国・岡山県と災害の少ない瀬戸内の光り輝く讃岐の国・香川県。「真心からのおもてなし」を合い言葉に両備ヘルシーケアは、この地域を中心として介護事業に取り組んでいます。

❖ 臨床美術との出会い

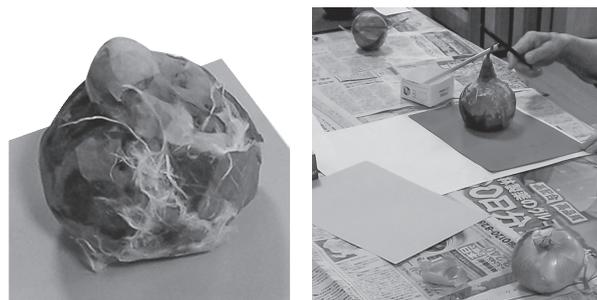
2015年の夏、TV番組の「認知症予防にアート」を観て、「臨床美術？ 実施してみたい！」と京都公開セミナーに申し込みました。以前から私の勤務する施設では、毎日のように60分程度の回想法を交えたアートレクを行い、活発な会話や楽しむ姿があり、この機会

に臨床美術を取り入れたいと思い、その年の秋から受講しました。

25個の林檎で五感に働きかける量感画を利用者の皆様と2ヶ月間夢中で描きました。林檎も傷み居室には沢山の「りんごの量感画」が飾られた頃、「林檎の次は何を描くのだろう」と言われて、その反響の強さに驚いたものです。

❖ 讃岐の国のアーティスト達

両備ヘルシーケア高松では、16年5月の施設オープン時より臨床美術を開始。毎回参加者は20名を超えます。17年4月「第32回国際アルツハイマー病協会国際会議」に臨床美術展が同時開催され、讃岐の国からも作品参加。5月には一周年記念作品展も実現し皆様



「林檎みたい！」と「りんごの歌」に発展した立体玉ねぎ制作



の励みになったそうです。

「立体玉ねぎ」制作で赤い玉ねぎ作品を鑑賞していた時、「林檎みたい！」という言葉で「りんごの歌」に発展し、大合唱と喜びに満ちた鑑賞会もありました。中にはMY道具持参で「一日中させてくれるなら、ここに来る楽しみもあるのになあ」との声。また、「私はできない！」と手を付けなかった方が、一年継続していく過程で素晴らしい作品を完成。誇らしい笑顔と会話が弾みます。ご家族の方々にも大変好評で作品ファイルがお家にあると伺っています。

17年末の「鬼の布楽面」は、一年の厄払いと翌年の縁起物として製作。「鬼はどんな顔？」「向かいの人の顔にしよう！」「怖くない鬼ね！」等、皆様は口と手を動かして完成。鬼の力強さを表現するのに、想像しながら新聞紙をねじったり、「面は何色？」と配色と格闘したり、その集中している姿は迫力を感じます。現

◎株式会社 両備ヘルシーケア

〒703-8237 岡山市中区森下町5番5号
<http://www.ryobi-hc.jp/>

◆事業内容

- * 住宅型有料老人ホーム
- * 介護付有料老人ホーム
- * 短期入所生活介護（ショートステイ）
- * 通所介護（デイサービス）
- * 認知症対応型通所介護
- * 訪問介護
- * 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- * 居宅介護支援

◆臨床美術実施施設

●丸の内ヒルズ

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-1-10
 TEL.086-235-0800(代) FAX.086-235-0811

●両備ヘルシーケア高松

〒760-0011 香川県高松市浜ノ町53-38
 TEL.087-813-2150(代) FAX.087-813-2151



場スタッフも一生懸命活動しサポートしてくれるので、毎回本当に感謝しています。

◆広がれ！ 臨床美術士の輪

今後、若い世代の感性と経験豊かな世代が共に介護現場で協同し臨床美術で地域起こしができたらと思います。臨床美術は自己実現の後押しをしてくれるものと、実践してきた中で感じています。現場スタッフからも「一緒に制作したいです」と声を貰っています。臨床美術士が誕生する日も遠くないようです。

他施設等からの見学やセッション依頼もあります。この先、超高齢社会が到来する日本はますます脳の活性化が求められることでしょう。これからも脳が喜ぶ！心が笑う！臨床美術を広めていきたいと思っています。

【臨床美術士 岡崎壽子】

臨床美術（クリニカルアート）とは

独自のアートプログラムに沿った創作活動を通して、認知症の症状改善を目的として開発されました。臨床美術士が一人ひとりの参加者にそった働きかけをすることで、その人の意欲と潜在能力を引き出していきます。1996年に医者（医療）・美術家（美術）・ファミリーケア・アドバイザー（福祉）がチームとなって実践研究をスタートさせました。医療・美術・福祉の壁を超えたアプローチが特徴で、アートセラピーの先進国にも例を見ない先駆的な取り組みと言えます。認知症の症状改善を目的として始めましたが、現在では前認知症の人や一般高齢者の認知症予防としても実施されています。また、発達障がいの子どもへのアプローチや子どもたちの感性を育む教育、福祉教育の分野でも高い評価を得ています。近年は、臨床美術によって年齢や障がいを越えた深いコミュニケーションが実現することに着目した団体や学校が介護実務者や保育者、教育者の養成や研修に導入しています。

◆特定非営利活動法人 日本臨床美術協会

<http://www.arttherapy.gr.jp/>

表紙掲載作品 「鬼の布楽面」両備ヘルシーケア高松の参加者